養治小学校

# ほけんだより　1月

第２回　学校保健安全委員会
１月１７日（木）１４：２０～

## 『個性をのばして生きる』

お話してくださった先生
大橋　広宣　先生
映画大好き！
お話するのも大好きな
明るくて、優しさに
あふれた先生です！

小学生のころに、
自分でキャラクターを
作っていたという
エピソードも！

好きなこともある一方で、

自分が好きなこと・
興味があることに
夢中になっている瞬間って
すごくキラキラしていますよね！

苦手なことやどうしても
できないこともあった。
そして、学校では、つらくて
悲しい経験もした。
悲しくて仕方がなかったけど、おうちの人に心配をかけたくなくて、言えなかった。

～自分の状況が変わったきっかけ～　注目！

★ 勇気をもって、自分が信じることができる大人（おうちの人・先生）に伝える

★ 笑ってごまかさずに、『やめて！』と相手に伝える

自分の良いところも、悪いところも、
コンプレックスも、
実は、私のすてきな
一面なのかな！
それも含めて『自分』
だもんね！

## 児童のみなさんの　すてきな　感想　紹介

・人のできないことやにがてなところじゃなくて、いいところをいっぱいさがすようにしたい。（1 年生）

・こまっているおともだちがいたら、ばかにせずにたすけてあげられる人になりたいです。（1 年生）

・親がつけてくれた自分の名前は大切なのだと思いました。（3 年生）

・こんどから、困っている人に よりそってあげられる人になりたいです。（4 年生）

・大橋さんがいじめられていても母と父が悲しむのがいやで言えなくても、きちんと親に話して、味方になってくれていたし、大きな声で『やめて』とも言えて、大橋さんとそのご両親はすごく勇気があると思いました。（5 年生）

・自分は『できない』と否定するのは、自分自身をいじめているというのが心にひびいたし、なやみがあるときは、まず先生や親に相談したいと思いました。（5 年生）

・他の人とちがうからといって、気にする必要はないと思いました（5 年生）

・『他の人とちがう』という理由で、ばかにしたり、いじめたりしてはいけない。（5 年生）

## 保護者の方の　すてきな　感想　紹介

・前半は、映画のたのしいお話であっという間に時間が過ぎて、楽しませていただきました。後半は、『いじめ』についてのお話で、経験談を聞かせていただき、とても感慨深く、家に帰ってから、娘とこのことについて、しっかりと話をすることができたので、とてもよかったです。

・『できる』『できない』にとらわれず、できることにはしっかり応援をし、見守ってあげること。できない事は、サポートし、一緒に最後までやりとげる、そしてあきらめない心をもつこと。改めて、考えさせられるタイトルとなりました。娘のもっている力を信じ、親としても成長していきたいです。

・お話を聞かせていただけて、『人をいじめる人は、心の貧しい人なんだな。』と改めて思いました。自分の子には、『人にやさしくしていたら、まわりまわって自分に良いことがあるからね。』と伝えています。しっかり自分の良いところをのばし、自分の短所が気にならないような人に成長してほしいと思います。

・学校という小さな世界で生きていく子どもたちに、親は何をしてあげられるのだろうと、考えさせられました。子どもながらに葛藤していた大橋さんの気持ちを想像すると、涙が出そうでした。私も我が子を認め、受け入れてあげられる親でありたいです。

・失敗をおそれずに、前へ進むことの大切さを学ぶ機会となりました。

・（お子様のワークシートに対して）あなたの『自分らしさ』ってとても素敵です。十人十色、みんなちがってみんないい精神でこれからもカラフルでバラエティー豊かな人付き合いをたのしんでね！

・講演をきいて、自分を認めてあげることは、自分にとって大切なことだと思いました。現代の多様性社会で、さまざまな性格・個性がある人々いるから社会が成り立っていると考えさせられる内容でした。自分の視点だけでなく、いろんな視点からアプローチして、物事をとらえていくことが個性を認めることにつながると思いました。